

ベスト8・青年委員長特別賞

# ワッショイ!!!! TOKUSHIMA2020

徳島 | 徳島県立徳島科学技術高等学校 選手…3年生1名[男子1名]



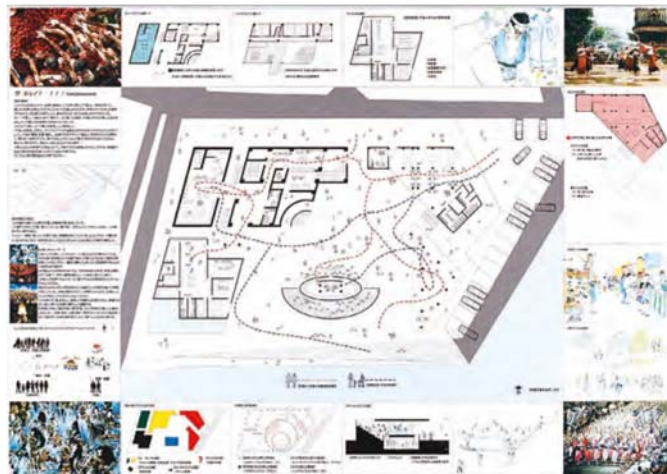
外国人労働者の増加といった時事的なまちの現況に着目し、そしてそれを臆することなく取り込むことで賑わいのある街を形成するポイントとしている点に、楽しいまちづくりの在り方を感じた。

計画としては、世界各地からやってくる彼等に対して、出身エリアを大陸と模した新しい地区の形成をめざし特色を持たせているが、今回の作品展のサブテーマでもある「建築をフィジカルにデザインする」といった点において、少し弱さを感じた。計画建物と広場のつながりの希薄さや、近隣環境との融合、建物の断面構成や模型を使った建築表現にもう少し注力して欲しいと感じた。

とはいえ、人と人のつながりを生むものとして、「祭り」をフォーカスすることで、日本文化を中心としながらも地域住民と外国人とが関わり合える新しい地区を生み出すきっかけとしており、若い世代らしい大変元気のある作品であった。

受賞、おめでとうございます!

(川嶋)



## ベスト8・女性委員長特別賞

# SAKAの町の地区センター

富山 | 富山県立富山工業高等学校 選手…3年生5名[男子3名、女子2名]

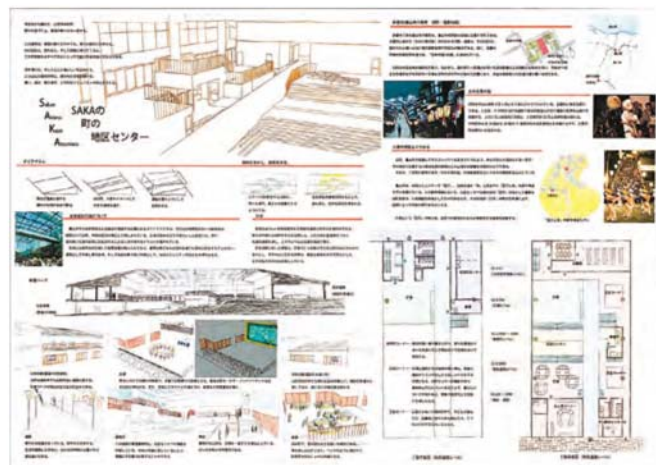


「おわら風の盆」で有名な八尾町における地区センターの提案である。この町は、中心市街地から離れたところに位置しているため、昔ながらの趣を残しているが、人口減少と高齢化が課題となっている。

石畳の諏訪本通りは「日本の道100選」に選ばれており、この道ともう一つの国道を結んだ街路のような空間に沿って、高低差を取り入れて、さまざまなコーナーを設けている点は、地区センターとしての機能を備えた形になっており評価に値する。

「おわら風の盆」の準備から始まり、開催されている間は、大勢の観光客が訪れ、活気づくが、それが終わると日常に戻り、活気の無い街になってしまう。その活気を取り戻すべく、地区センターの中に、コミュニティーの活性化にも繋がるような空間を考えたりしている点はとてもよいと思うが、住民のためだけでなく、さらに、「おわら風の盆」が開催されていない時でも観光としての工夫を考えることも必要ではと思う。

平図面やパースを、もう少し丁寧に表示していただければ、かなり良くなるのではと思う。また、全体的な外観についても、昔ながらの町並



みにふさわしいデザインの提案をしっかりと検討いただけるとさらに良い提案になったのではと思う。  
(小野)

## ベスト8・まちづくり委員長特別賞

# 路面電車の通る街

大阪 | 都島第二工業高等学校 選手…3年生1名、2年生1名[男子2名]



住吉公園は、明治6(1873)年に開設された大阪で最も古い公園で、大阪府営5公園の一つ。住吉大社は、全国の住吉神社(いのちの根源、海の神)の総本社で、日本を代表する神社の一つ。大阪をはじめ地域の人々から「すみよっさん」と呼ばれ、世界中からたくさんの方々が参拝に来る。大阪はもとより、近畿地方でも知らない人はいないぐらいの有名な場所だ。

計画地は、阪堺電気軌道の上町線住吉～住吉公園間が廃止された廃線跡の活用計画である。

ステーションを地域拠点とするには、2つ気になるところがある。

一つは、地域の互いの繋がりが方である。イメージで大社、公園を緑で繋げている。それはよい。しかし、フィジカルな繋がりが欲しい。敷地に固執しないで、はみ出すような周辺への広がりが欲しい。参拝者や観光客とのコミュニケーションを促すような仕掛けがあればと思う。いまひとつは、3つの拠点のことだ。ランニングはどこを走るのだろうか。ブックシェアは単に本を置いているだけだろうか。マチナカキッチンと連携している商店街はどこにあり、どう繋がっているのだろうか。などなどである。これらの表現ができていれればと思う。



しかしながら、まちづくりの基本である地域社会とその場を意識した点は、優れている。ベスト4もさることながら、まちづくり賞も差し上げた。おめでとう。(森崎)